

## 「京北地域の活性化ビジョン（仮称）」（案）に係る市民意見募集の結果について

右京区京北地域については、本市との合併（平成17年4月）以降、「京都市・京北町合併建設計画」及び「京都市過疎地域自立促進計画」に基づき、各種事業を着実に実施し、発展に向けた土台づくりに取り組んできましたが、地域活力の低下が懸念されているため、合併から10年を一つの契機として、魅力溢れるこの地域をしっかりと未来に引き継いでいけるよう、「京北地域の活性化ビジョン（仮称）」（案）の策定を進めています。

この度、本ビジョン（案）に係る市民意見を募集しましたので、その結果を御報告いたします。

### 1 市民意見募集の結果について

#### (1) 募集期間

平成27年6月26日（金）～7月25日（土）

#### (2) 御意見数

意見者数：294通、意見総数：630件

#### (3) 御意見をいただいた方の属性

##### ア 居住地等

1 京北地域	2 京都市内（京北地域を除く）	3 京都市外	4 記載なし
203人	31人	7人	53人

##### イ 通勤・通学地等

1 京北地域	2 京都市内（京北地域を除く）	3 京都市外	4 記載なし
76人	34人	64人	120人

##### ウ 性別

男性	女性	記載なし
110人	129人	55人

##### エ 年代

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
2人	8人	42人	35人	51人
60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	記載なし
69人	20人	5人	1人	61人

### 2 御意見の内容（詳細は資料1のとおり）

ビジョン（案）に反映するもの（A）は36件、ビジョン（案）に記載済み又は趣旨に含まれ、賛同いただいているもの（B）は185件、今後施策を検討する際に参考とするもの（C）は409件ありました。

（単位：件）

関連する項目	A	B	C	計
1 京北の姿	14	4	0	18
2 京北ビジョンとは	0	0	20	20
3 京北の未来像	0	10	6	16
4 視点・成果指標	7	2	6	15
5 重点戦略				
（1）まちの創造	9	58	58	125
（2）ひとの創造	0	36	176	212
（3）しごとの創造	6	62	35	103
（4）こころの創造	0	2	10	12
6 その他	0	11	98	109
合計	36	185	409	630

(1) ビジョン（案）に反映するもの（36件）

- ・ 京北の一部が国定公園に指定されるので、ビジョンにもその活用について記載してはどうか。
- ・ 田んぼは防災上の観点からもダム機能があり、維持が欠かせない。
- ・ 林業が山を守っていることが分かりにくい。
- ・ 京北地域には他にも魅力的な場所があることを明記し、アピールするべきである。
- ・ 京北地域の環境の良さ（自然環境、都市部に通勤可能）を活かす必要がある。
- ・ 古民家など伝統的景観の保全等を検討してほしい。
- ・ 京北の空き家を活用し、住まいを確保する必要がある。
- ・ 有害鳥獣対策による農作物被害の軽減が必要である。

(2) ビジョン（案）に記載済み又は趣旨に含まれ、賛同いただいているもの（185件）

- ・ 移住者だけ特別扱いされては、既存住民が住みにくい。人口の流出を防ぐ策も考えるべきである。
- ・ 自然・歴史・文化・あたたかい地域コミュニティなどの魅力を未来に引き継ぎたい。
- ・ 移住者にたくさん来てほしいが、過去には、旧来からの住民と軋轢があったこともある。考え方が違ってもお互いに歩み寄ることが重要である。
- ・ 高速インターネット環境の整備をお願いしたい。具体的な時期を公表してほしい。
- ・ 小・中一貫校の整備に賛同する。
- ・ 6次産業化や京北ブランドの新京野菜の開発など、農林業全般の活性化、収益化が必要である。農業に従事する人への経済的支援も必要である。
- ・ 移住者に住んでいてよかったと言ってもらえるよう、地元のまちづくり活動を応援してほしい。
- ・ ビジョンの内容については、素晴らしい。行政の姿勢は心強い。等

(3) 今後施策を検討する際に参考とするもの（409件）

- ・ ビジョンといっても、どこか遠くの話に感じる。
- ・ ビジョンの表現が表面的である。田舎暮らしにはもっと土臭い視点も必要である。
- ・ より多くの議論と時間が必要であり、目標数値の達成は困難ではないか。
- ・ 定住者を増加させるには、太秦天神川まで直行する市バスやJRバスを新設するなど、交通環境を整備し、利便性を高めることが必要である。
- ・ 小・中学校の統合には反対である。
- ・ 活性化には、生産年齢人口と観光客の増加が必要であり、働く場を行政が提供する必要がある。
- ・ 高齢者養護施設をつくるなど、京北にある公共施設跡を活用し、若者の雇用を確保してほしい。

等

### 3 ビジョン（案）に反映する内容（資料2参照）

御意見	修正ページ	修正内容
京北地域には他にも魅力的な場所があることを明記し、アピールすべきである。	1	「ア 豊かな自然環境」に京北地域の魅力的な場所があることを追記
京北の一部が国立公園に指定されるので、ビジョンにもその活用について記載してはどうか。	1	「ア 豊かな自然環境」に京北地域の一部が国立公園に指定されることを追記
林業が山を守っていることが分かりにくい。	2	「ウ 京都のまちを支える農林業」に林業が山を守っていること及び耕作放棄地や手つかずの山林の増加による貯水能力の低下が懸念されることを追記
田んぼは防災上の観点からもダム機能があり、維持が欠かせない。		
京北地域の環境の良さ（自然環境、都市部に通勤可能）を活かす必要がある。	9	「(2) イ 住みやすさの向上」に京北地域が都心部への通勤可能圏であることを追記
古民家など伝統的景観の保全等を検討してほしい。	9	「(2) ウ 空き家の流通促進」に「古民家などの空き家が200軒以上ある」ことを追記
京北の空き家を活用し、住まいを確保する必要がある。	16	「エ 空き家の流通促進」に古民家を再生し、移住・定住者向けの住宅として活用することを追記
有害鳥獣対策による農作物被害の軽減が必要である。	20	「エ 農林業の持続的経営力の強化」に野生鳥獣による農作物被害の軽減を図ることを追記

### 4 ビジョンの策定時期

平成27年8月下旬